学校法人東北学院高等学校
「高校生向けフィールドスタディ」を実施しました

宮城第一信用金庫では、学校法人東北学院高等学校様からのご依頼により、令和４年９月８日（木）に「高校生向けフィールドスタディ」を開催いたしました。この企画は地元の高校生を対象に地元企業を深く知っていただくとともに「金融リテラシー教育」の一環として実施されたものです。当金庫として初めて同校の依頼を受けましたが、金融リテラシーの醸成とさらには将来地元企業への就職に繋がればと考えております。

研究会の中では「信用金庫および当金庫の概要や経営理念・方針」をはじめ「信用金庫と銀行の違いや信用金庫の位置づけ・ネットワーク・役割」、「当金庫のＳＤＧｓ宣言にかかる活動」、「高校生のための金融リテラシー講座」などを講義いたしました。

【フィールドスタディの様子】

生徒の皆さんからは「信用金庫の位置づけや役割、また日常で取り扱う金融業務だけでなく金融以外の活動も大切にしているということについてよく知ることができた」「信用金庫は金融面だけではなく、東日本大震災や新型コロナウイルスなどで打撃を受けているお客さまへの伴走支援を積極的に行っていることを知った」「地域の方々とのつながりを大事にしていることなどを学べて有意義で貴重な時間だった」「お金の計画的な使い方を意識して自分の将来について考えていきたい」「成年年齢引き下げによる契約トラブルが勉強になった」等の感想をいただきました。講師を務めた職員によりますと、受講された生徒の皆さんは講義の内容を熱心に聞いてくださるだけでなく積極的な質疑応答もあり、大変手応えを感じるものであったとのことです。

今回の「高校生向けフィールドスタディ」が「金融に関して考えるきっかけ」となることができ役職員一同とても嬉しく思います。生徒の皆さん大変お疲れさまでした。

当金庫では、今後もこのような活動を通して様々な地域貢献活動を推進してまいります。

宮城第一信用金庫